

創立35周年



ハイメス

HIMES ニュース

Hokkaido International Music Exchange Society News Letter



ニューイヤーコンサートの様子



REZONANCIAの様子



2022年度 事業報告

■札幌音楽家協議会・ハイメス共催 REZONANCIA 共鳴 ～ハンガリーからお迎えて～ ハイメス国際交流委員会 委員長 谷本聡子



コロナ禍の数年、私達は、言葉や音のやりとりを画面越しで行ってきました。オンラインで活動を続けられた新しい可能性は、その先へと世界が広がり、その体験をしたからこそ、「生の音」から得られる情報量の多さ、伝わる思いの強さに、改めて気づかされました。

2023年2月20日、ちえりあホールに於いて、止まっていた国際交流事業の演奏会を実現できたのは、そんな多くの人々の想いの結晶でした。「REZONANCIA」は、札幌音楽家協議会との初めての共催公演でもあります。「リスト音楽院セミナー」を再開した札幌コンサートホールが、ハンガリーの演奏家たちを招聘し、北海道の音楽家たちとの共演の場の提供に協力してくれました。

の共演の場の提供に協力してくれました。

F.リストが初代総長として設立し、150年の歴史を刻むリスト音楽院からお迎えした二人の素晴らしいアーティスト。世界各国で活躍し、鍵盤楽器科主任教授も務めるファルカシュ・ガーボル氏は、管楽器、弦楽器の会員と共演。前日リサイタルを終えたばかりの若き俊英、チェロのデヴィッチ・ゲルゲイ氏は、各団体に公募した会員達とトリオを演奏しました。

初回のリハーサルでは、時間をいっぱいに使って、大変熱心なりハーサルが展開されました。ハンガリーの演奏家達の、作品の真髄に迫り、音楽の情熱を交換し合い高めていこうとする姿勢に、遠慮がちであったアーティスト会員達も引き込まれ、音での会話が心の交流に繋がっていきました。2回目のリハーサルは、ハイメス研修事業委員会と、札幌大谷大学との連携で「公開リハーサル」として札幌大谷大学響流ホールで行われました。ファルカシュ氏の音色の美しさ、デヴィッチ氏の音質の充実さに耳を奪われながら、大きな音楽を一緒に創り上げていく喜びを味わう時間となりました。

演奏会当日は寒い中、200名の聴衆が来場されました。同じ空間で息遣いを感じ、2日間のリハーサルで大きな刺激を受け、音楽を引き出されたアーティスト達の高揚が、ホールを熱いものにしました。終演後のホワイエでは、共演したアーティストたちが名残り惜しんで、サインをもらい、記念撮影する時間が続きました。握手と抱擁で再会を約束した姿は、奏でられる音の共鳴が、確かに心を震わせるものであったことを実感した夜となりました。



REZONANCIA リハーサルの様子

■第33回ハイメスニューイヤーコンサート ～躍動する今 新たな時へ～ ハイメスニューイヤーコンサート委員会 委員長 菅原利美



この度1月22日(日)に3年ぶりのハイメスニューイヤーコンサートを開催いたしました。今回はランチを楽しみながらコンサートを聴いていただくという内容で、お客様には人数制限、パーティーの設置、お食事以外のマスク着用等、感染対策にご協力いただきました。

また、パークホテル様にも会場設置などたくさんのご協力をいただきまして無事に終わることが出来ました。「開催おめでとうございます」「コンサートの生演奏を久しぶりに聴きました」と楽しそうに話して下さるお客様も多くいらっしゃいまして、改めて皆様が開催を楽しみにされていたことを実感いたしました。

来年は1月に今回と同じ時間帯での開催を予定しております。楽しいコンサートを企画しておりますので、たくさんのお客様のご来場をお待ちしております。

■第54回ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート「ドイツの偉大な作曲家」 コンサート委員会 委員長 名取百合子



第54回目となるザ・ルーテルホール・ハイメスコンサートを、本年3月8日(水)に開催いたしました。このコンサートのテーマは、委員会で様々なイメージや意見を出し合い決めています。今回は「ドイツの偉大な作曲家」をテーマとし、互いに親交のあったシューマンとブラームスの作品を取り上げました。

プログラムは、ソプラノ新関知子さん、ピアノ橋田由希乃さんでブラームス歌曲「愛の歌」他6曲、ソプラノ久慈睦子さん、ピアノ吉野智子さんはシューマン歌曲「乙女は語る」他5曲を演奏され、それぞれ情感のこもった美しい歌声が会場に響きわたりました。ピアノソロでは、道下暁さんが気品と力強さの溢れるブラームス「4つの小品op.119」を、浅沼恵輔さんはシューマン「幻想曲op.17」を幻想的で情熱的な演奏を披露されました。

3年以上に渡るコロナ禍で、なかなかコンサートに足を運べなかったお客様も今回は大勢ご来場くださり、生で聴く音楽の素晴らしさを演奏者と会場の皆様と共有できた素敵な1日となりました。委員会一同感謝申し上げます。

■第35回ハイメスコンクール <ピアノ部門> 結果報告

ハイメスコンクール委員会 委員長 阿部博光



最優秀賞 三本木力哉さん

三本木さんには、副賞として、(株)宝石の玉屋様より「純金ウィーン金貨ハーモニー」が贈呈されました。

(株)宝石の玉屋 泉研社長(写真左)
ハイメス 長沼修理事長(写真右)



優秀賞 古川佳奈さん(左)

優秀賞 小西裕太さん(右)



コンクール全体の講評はこちらのQRコードからご覧いただけます。

第35回ハイメスコンクール<ピアノ部門>が、令和5年3月23日に北広島市芸術文化ホールにて開催いたしました。今回の参加者は9名と前回に比べ応募者数が少なく危惧された面もありましたが、参加された方々のレベルが高く充実した素晴らしい演奏が繰り広げられました。

審査委員長を務めて頂いた東京藝術大学名誉教授の植田克己先生からも「9名の方々それぞれが大曲、難曲に取り組み緊張の中でも力を発揮され、若い世代の演奏技術向上の目覚ましさを今回の応募者もそれを裏付けるもので、更に専門的な勉強を継続したいという皆さんの強い熱意を感じました」との、ご講評をいただきました。

また、今回もコロナ感染に配慮しながらのコンクール運営でしたが、委員の先生方々や事務局の方々のサポートで無事終了できましたこと、心より感謝申し上げます。

■ハイメス創立35周年記念事業 Harvest HIMES Vol.2「Bon voyage！」 広報委員会 委員長 駒ヶ嶺ゆかり

2023年11月16日(木)19時開演(予定) 札幌コンサートホール Kitara 小ホール

ハイメス創立35周年を記念する事業の一つとして、11月16日(木)にHarvest HIMES Vol.2「Bon voyage！」を開催する運びとなりました。昨年スタートした新企画 Harvest HIMESは、可能性の芽を次世代へと育て上げるハイメスならではのコンセプトを掲げております。留学によって様々な世界観を持ち、音楽を探究し続けるアーティストを、コンサート委員会と連携し開催するこの企画の第2弾は、ピアニストのジャスミン・アラカワさんを迎え、「Bon voyage！」と題しお届けします。

アメリカで活動するピアニストのジャスミン・アラカワさんは、今夏、自身の研究テーマである『ジャワ組曲』のレコーディングを行い、是非、地元北海道で披露したいという想いをハイメスに投げかけてくれました。彼女は今年サバティカル(研究休暇)期間中に世界各地で演奏会を計画しています。その旅から受けたインスピレーションを北海道にも届けたいとのこと。ハイメス35周年にふさわしい事業として、このチャンスを受け止めたいと考えました。

広報委員会は、6年前に開催した「アメリカン・フォーラム」以来、ジャスミンさんとの繋がりを大切にしてきました。アメリカでの音楽活動を通じ、音楽そのものが根付く社会へのアプローチ、音楽を発展させる大学教育システムなどについて、現場で奮闘する彼女の話にいつも私たちは心を鷲掴みにされています。コンサート当日は、ジャスミンさんの魅力溢れるトークタイムもあります。地元アーティストの共演は、ハイメス会員のフルート 立花雅和、メゾソプラノ 駒ヶ嶺ゆかりが参加します。是非、お楽しみ下さい。

ジャスミン・アラカワ(ピアノ)

北海道生まれ。東京芸術大学ピアノ科卒業。2004年、第17回ハイメスコンクール最優秀賞受賞後、アメリカへ留学。2017年よりフロリダ大学で教鞭をとる。現在、フロリダ大学音楽学部准教授、およびフロリダ国際ピアノフェスティバル・ディレクター。2023年、大学の研究休暇システムであるサバティカルを取得し、世界各地での演奏会を企画。研究の一つとして、レオポルド・ゴドフスキー作曲『ジャワ組曲』に取り組み、ニューヨークにてレコーディングを行う。ハイメスでは、2016年、第5回ハイメスオーケストラ演奏会のソリストとして出演、アメリカ留学と音楽教育の今を語る企画として2017年「アメリカン・フォーラム」、2022年「アメリカン・オンラインフォーラム」を実施した。



<第1部>

レオポルド・ゴドフスキー作曲「ジャワ組曲」 ピアノ・映像/ジャスミン・アラカワ

<第2部>

トーク/ジャスミン・アラカワ

ハイメスアーティスト会員とのアンサンブル

■メゾソプラノ/駒ヶ嶺ゆかり ピアノ/ジャスミン・アラカワ

ハヴィエ・モンサルヴァーチェ CINCO CANCIONES NEGRAS 「5つの黒人の歌」

■フルート/立花雅和 ピアノ/ジャスミン・アラカワ

モウアー・マイク ソナタ・ラティノ



■第21回ハイメス・プラザ 時計台の鐘コンサート

2023年9月27日(水)19時開演(予定)

札幌時計台ホール

<出演者> 検討中

■第36回ハイメスコンクール<管・弦・打楽器部門>

2024年3月14日(木)11時開始(予定)

北広島市芸術文化ホール(花ホール)

審査委員長/澤 和樹氏(ヴァイオリン奏者・東京芸術大学前学長)

■ハイメス研修事業 公開レッスン

2024年3月13日(水)

会場未定

講師/澤 和樹氏(ヴァイオリン奏者・東京芸術大学前学長)

■第34回ハイメスニューイヤーコンサート

2024年1月21日(日)12時30分開宴(予定)

札幌パークホテル 3階 パークホール

<出演者>

ピアノ/三本木力哉(第35回ハイメスコンクール最優秀賞者)

箏/梅宮恵里 他

<司会>

岡元敦司 伊藤千尋

■第55回ザ・ルーテルホール・ハイメスコンサート 「音楽の宝石箱」

2024年3月6日(水)19時開演

ザ・ルーテルホール

<出演者>

ソプラノ/板垣恵 ピアノ/橘田由希乃

ソプラノ/後藤ちしを ピアノ/検討中

ソプラノ/亀谷泰子 フルート/八條美奈子 ピアノ/橘田由希乃

ピアノ独奏/石井ルカ

第33回ハイメスコンクール最優秀賞 阿部幸奈さん留学報告



Münchener Kammerorchester
コンサートミストレス笠井友紀先生(左)の
ヴァイオリンレッスンを受講

第33回ハイメスコンクール<管・弦・打楽器部門>最優秀賞を受賞した、阿部幸奈さん(ヴァイオリン)が、2023年2月から3月中旬にかけて、ドイツ・ミュンヘン、スイス・バーゼルへ約5週間の短期留学を行いました。各地にてプライベートレッスンを多数受講したほか、現地で開催されるさまざまな演奏会に積極的に足を運び、有意義な留学経験をされました。留学報告書はハイメスのホームページで掲載予定です。阿部さんは、今年4月より九州交響楽団のヴァイオリン奏者として新たな活動を開始しました。ハイメス一同、今後の活躍を心から応援しています。

<ハイメスコンクール留学条件の変更について>

ハイメスコンクールでは最優秀賞者の海外研修を助成しています。2021年より最優秀賞者の留学条件を一部緩和し、1カ月以上の海外研修を受けることを条件としています。大学等の教育機関だけでなく、プライベートレッスンやセミナー等受講の選択肢を広げることで、海外への留学を具体化しやすくし、研鑽の機会を失うことがないように、今後もコンクール委員会を筆頭にサポートしてまいります。(短期留学の場合、ハイメスが指定する活動時間の条件をクリアする必要があります。)

アーティスト派遣実績報告

■令和4年度 第64回北海道文化集会 コンサート

ご依頼:北海道文化団体協議会様

実施日:2022年11月3日(木・祝)

会場:北海道近代美術館 講堂

派遣アーティスト:Vn.山本聖子 Fl.立花雅和

Vc.山田慶一 Cemb. 近江宏(※)

■令和5年札幌市中央卸売市場新年交礼会

ご依頼:丸水札幌中央水産株式会社様

実施日:2023年1月12日(木)

会場:札幌パークホテル パークホール

派遣アーティスト:1Vn.長谷川加奈 2Vn.田島理恵(※)

Vla.今井佑佳 Vc.有田文(※)

■令和5年丸水札幌中央水産株式会社新年会

ご依頼:丸水札幌中央水産株式会社様

実施日:2023年1月21日(土)

会場:札幌グランドホテル

派遣アーティスト:クラリネット四重奏

福井遥香 中川 知美 朝倉 愛(※) 狩原 枝里子(※)

■国際ソロプチミスト札幌ノイエ

第30回チャリティーコンサート

ご依頼:国際ソロプチミスト札幌ノイエ様

実施日:2023年5月28日(土)

会場:札幌パークホテル パークホール

派遣アーティスト:Pf.浅沼恵輔 Pf.徳田貴子

(※)賛助出演

編集後記

今回のハイメスニュースレターは、非常に情報量の多い内容となりました。

それだけハイメス、ひいては音楽界全体の活動が活発になってきた証であり、大変喜ばしいことです。これから、さらにこの動きが加速することを願わずにはられません。

私たち広報委員は今年度、ハイメス創立35周年を記念する一つの事業として、11月16日にHarvest HIMES Vol.2 「Bon voyage !」を企画しています。

アメリカ在住のジャスミン・アラカワさんとオンライン会議を重ねる中で、ジャスミンさんの提案で広報委員のメンバーとの共演をプログラムに盛り込むことになりました。どのような演奏会になるのか、今から楽しみです。

35周年を迎えるハイメス新たな風を吹き込むような公演にしていきたいと考えています。

公演の続報はこのニュースレター、公式HP等でも共有してまいりますので、ぜひご注目ください。

(ハイメス広報委員 立花雅和)



ハイメス

検索

<http://www.himes.jp>

企画・製作 ハイメス広報委員会

駒ヶ嶺ゆかり 立花雅和

アドバイザー 樋泉実(副理事長)

松田敏一(事務局長) 立花麻美(事務局)